

令和5年度環境活動スタート事業業務委託仕様書

本仕様書は、令和5年度環境活動スタート事業に関する業務委託に適用する。

1 業務内容

委託業務の内容は次のとおりとし、業務の運営にあたっては、福島県環境共生課（以下、「県」という。）と協議して行うものとする。環境活動スタート事業（以下、「本事業」という。）の事業概要については別紙1「事業概要」を参照のこと。

（1）参加校募集に関する業務

ア 受付

参加申込を受け付け、学校名、住所、連絡先、学校長名、担当者名、実施希望日、参加単位、参加児童・生徒数を名簿データで整理し、県へ提出すること。

イ 参加校数

- ・ 参加校数は15校を上限とする。
- ・ 参加申込校数が15校に満たない場合は、県へ連絡する。
- ・ 参加申込校数が15校より多い場合は、参加校の選定は県が行い、受託事業者（以下、「事業者」という。）へ通知するものとする。

（2）参加校への物品配付に関する業務

ア 県が提供するデータにより事業者がカラー印刷した県事業リーフレットを参加校の全児童・生徒及び全職員へ配付すること。

イ 県が提供するデータにより事業者が印刷したリポート用紙を参加児童・生徒へ配付すること。

（3）講師派遣に関する業務

ア 参加校との調整

- ・ 参加校に派遣する講師は、参加校の希望に基づき県が選定する。
- ・ 参加校と講師に対して、派遣日程等の調整を行うこと。

イ 事前打ち合わせ

- ・ 派遣に先立ち、事業者、参加校による打合せを行うこと（各1回）。
- ・ 派遣に先立ち、県、事業者、講師による打合せを行うこと（各1回）。

ウ 派遣日程

- ・ 講師の派遣は、原則7月1日から12月第2週の間で行うこと。高等学校への派遣は、翌年2月第2週の間で行うこと。
- ・ 前述の日程以外での派遣となる可能性が生じた場合は、速やかに県と協議すること。

エ 派遣当日

- ・ 講演会補助及び写真撮影を行うこと。

オ 講師への派遣料等の支払い

- ・ 講師に対し、派遣料（報償・旅費相当）を、派遣後速やかに支払うこと。

（4）レポートに関する業務

事業実施後、参加校から提出されたレポート現物及びデータ化したものを速やかに県へ提出すること。

(5) 広報補助

当日撮影した写真及び参加校から提出されたりポートをA4版1枚程度にまとめ、データにより県へ提出すること。

2 提出書類

次のとおりとし、それぞれ1部を県へ提出するものとする。

(1) 委託業務着手届（第1号様式）

委託業務着手後、7日以内に提出すること。

(2) 委託業務完了届（第2号様式）

委託業務完了後、遅滞なく提出すること。

(3) 事業実績報告書（第3号様式）

委託業務完了届とともに提出すること。

(4) 仕様書1（5）で作成したデータ

参加校よりレポート提出後、10日以内に提出すること。

3 その他

(1) 各業務の履行期限は別紙2「業務分担表」による。

(2) 本仕様書にて数量等が不明瞭な項目については、別紙3「令和5年度環境活動スタート事業業務委託設計」に基づくこと。

(3) 応募状況や参加校選定の結果、別紙3「令和5年度環境活動スタート事業業務委託設計」に挙げた数量と異なる項目が発生した場合、委託契約書第4条の規定により、変更契約を締結する。

(4) この仕様に定めることのほか、委託業務について必要な事項は県と事業者が協議して定めるものとする。

令和5年度環境活動スタート事業 事業概要

1 目的

各学校での脱炭素、省エネの取組（ふくしまゼロカーボン宣言）の意義を理解し、地球温暖化対策の児童生徒・教職員の理解の深まり、意識や実行力向上を目的とする。

2 主催

福島県

3 後援

福島県教育委員会

4 対象

福島県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校

5 事業の内容

何から取り組んで良いかわからないといった学校での環境教育の導入として、本事業で委嘱する3名の講師を派遣する。また、地球温暖化防止活動推進員等と連携し、選択肢を広げるとともに、学校種の実態に応じて実施期間を延長する。

(1) 講演会

- ① 内容は、地球温暖化に関するものとする。
- ② 講師を派遣する学校数は、15校を上限とする。
- ③ 人数制限は設けないこととし、参加単位は学級・学年・学科など任意とする。

(2) 県のあいさつ

「ふくしまゼロカーボン宣言」事業のポスターを提示し、児童生徒・教職員にカーボンニュートラルの実現に向けた取組の必要性を再認識してもらう。また、リーフレットを使用して県での地球温暖化対策事業の紹介を行い、講演会も地球温暖化対策の取組の一環であることを理解してもらう。さらに、環境創造センターの紹介や日常生活の中でできる取組事例を紹介し、意識や実行力向上を図る。

(3) 実践、普及・啓発

- ① 講演会実施校は、児童・生徒が書いた感想を含めた自分の気づき（地球温暖化防止のための実践と振り返り）をレポートとして提出する。レポートは、次のア～ウの3つの内容を含むものとする。

ア 講演会後の感想

イ 講演会をきっかけに気づいた地球温暖化防止に対して自分ができる取組

ウ イの実践後の感想と振り返り

※ レポート用紙は、県が作成したもの又は学校独自に作成したものを使用する。

- ② 県は提出されたレポートの内容をHP等で広く発信する。
- ③ 児童・生徒が生活の中で環境活動を実践することで地球温暖化防止の普及啓発をねらうとともに、環境意識・実行力の向上を図る。

(4) 実施手順

- ① 公立小・中学校への募集通知は、4月に教育庁を通じてメールで行う。県立学校、私立学校への募集通知は、環境共生課からのメールまたは郵送で行う。なお、募集期間は、原則として令和5年4月～5月とする。高等学校については、10月までとする。
- ② 実施校決定及び通知は令和5年6月末に行い、以降は参加校の上限に達するまで随時行う。
- ③ 講演会は、小・中学校は令和5年7月～12月第2週までに実施する。高等学校は令和6年2月第2週までに実施する。前述の日程以外での派遣となる可能性が生じた場合は、協議をして決定する。
- ④ 実施校は、講演会終了後15日以内にレポートを提出し、県は随時HP等で情報を発信する。

令和 5 年度環境活動スタート事業 業務委託 業務分担表 (案)

(1) 環境活動スタート事業

業務	業務内容	県	受託事業者	履行期限
募集	案内作成	○		4 月 5 日
	送付文及び案内の作成・送付	○		4 月 1 0 日
	申込受付 (小・中学校) (高等学校)		○	6 月 2 日(〆切) 1 1 月 2 日(〆切)
	参加校名簿の作成		○	6 月 9 日 (以降、随時)
	参加校選定	○		6 月 1 6 日 (以降、随時)
	参加校へ決定通知送付		○	6 月 2 3 日
参加学校への配付	講演会要項のデータ作成	○		6 月 1 6 日
	県事業リーフレットのデータ作成	○		6 月 1 6 日
	県事業リーフレット印刷・配付		○	講演会の 3 日前まで
講師派遣	派遣先の参加校の選定	○	○	講演会前
	派遣先の参加校との調整		○	講演会前
	講師との調整		○	講演会前
	派遣先の参加校との事前打ち合わせ		○	講演会前
	講師との事前打ち合わせ	○	○	講演会前
	講師派遣の精算		○	講演会後
講演会	講演会進行・講演会補助	○	○	講演会実施日
	県事業 P R	○		
リポート	リポートの収集		○	講演会後 1 5 日以内
広報	県 H P 用データの作成		○	学校からの提出後 1 0 日以内

令和5年度環境活動スタート事業スケジュール（案）

[illegible]

委託業務着手届

令和 年 月 日

福島県知事

受託者 住所
名称
代表者 印

令和 年 月 日付で締結した下記委託業務は、令和 年 月 日付で着手しましたので届け出ます。

記

- 1 業 務 名 令和5年度環境活動スタート事業業務
- 2 委託料の額 金 円
- 3 委 託 期 間 着 手 令和 年 月 日
履行期限 令和 年 月 日

委託業務完了届

令和 年 月 日

福島県知事

受託者 住所
名称
代表者

印

令和 5 年度環境活動スタート事業業務の実績について、下記のとおり完了しましたので報告します。

記

- 1 契約年月日 令和 年 月 日
- 2 事業着手年月日 令和 年 月 日
- 3 事業完了年月日 令和 年 月 日

事業実績報告書

令和 年 月 日

福島県知事

住所

名称

印

令和5年度環境活動スタート事業業務の実績について、下記のとおり報告します。

記

- 1 事業実施期間 契約日から 令和 年 月 日まで
- 2 事業実施内容
- 3 添付資料